



MESSAGE NOTES

礼拝の準備 — 学ぶ者として臨む

マタイの福音書 28:18-20

アジェリ・サビ

1. 大宣教命令

マタイの福音書 28

18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

弟子とは、学ぶ人、教えを受ける人、生徒、あるいは従う人のことです。イエス様は弟子たちに、福音のメッセージを全世界に広めるという使命をお与えになりました。キリストを信じるすべての人は、イエス様と結ばれている者として、同じ使命を与えられているのです。

2. 生徒となるよう召されています

Ⅱ テモテへの手紙 3

14

けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分がだれから学んだかを知っており、15 また、自分が幼いころから聖書に親しんできたことも知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。16 聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。17 神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。

地元の教会は、信者のための聖書学校です。聖徒たちを備えさせるために神様が定められた場所です。信者はそこで、それまでの考えを捨て、学び、新たに学び直し、信仰において成熟していきます。

3. 学んだことを教えるよう召されています

Ⅱ テモテへの手紙 2:2

多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。

「一人一人が教え合う」。すべての信者は成長し、信仰に根ざし、他の人に教えるべきです。それが、神様が私たちに期待しておられることなのです。すべてのことに答えを持っている必要はありませんが、自分が信じていることのために立つことができるだけの知識は持っているでしょう。